

農作物病害虫発生現況情報（5月）キャベツ編

1 コナガ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺は、平年並の4月第1半旬から認められた（図1）。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺は、平年並の4月第4半旬から認められた（図2）。
- (3) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺は5月第1半旬から認められた（図3）。
- (4) 5月の巡回調査では、産卵圃場は確認されなかった（平年22.9%、図4）。

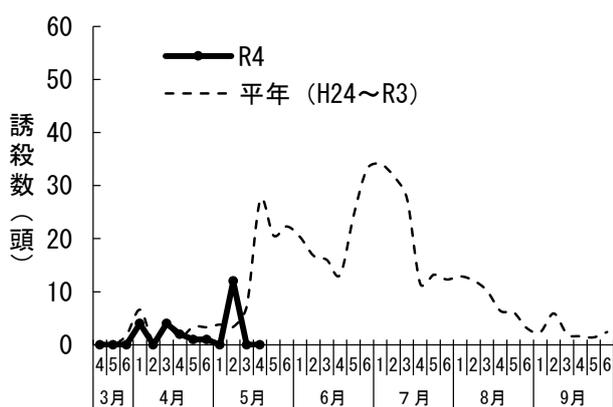


図1 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップの誘殺状況

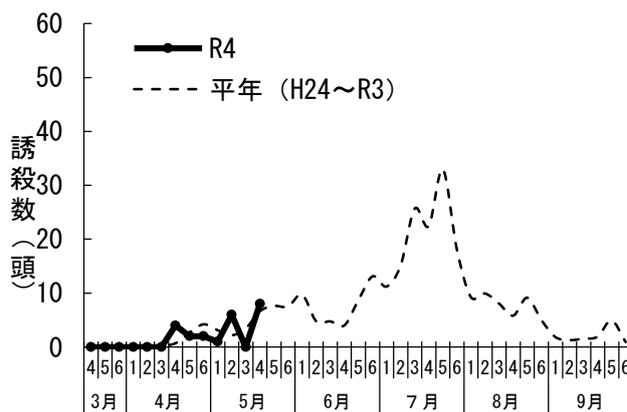
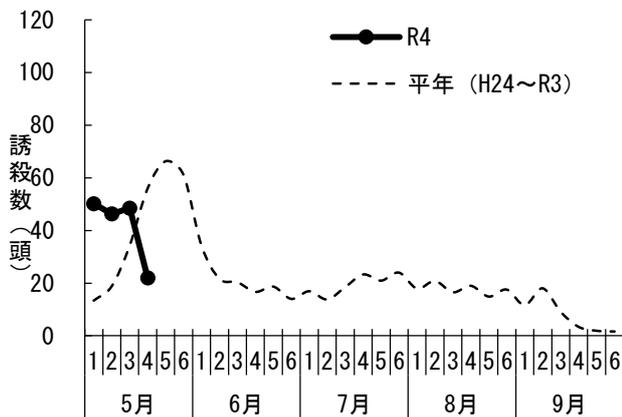


図2 軽米町におけるフェロモントラップの誘殺状況



2 モンシロチョウ

(1) 5月の巡回調査では、産卵圃場率は50.0%（平年63.2%）であり、平年よりやや低かった（図5）。

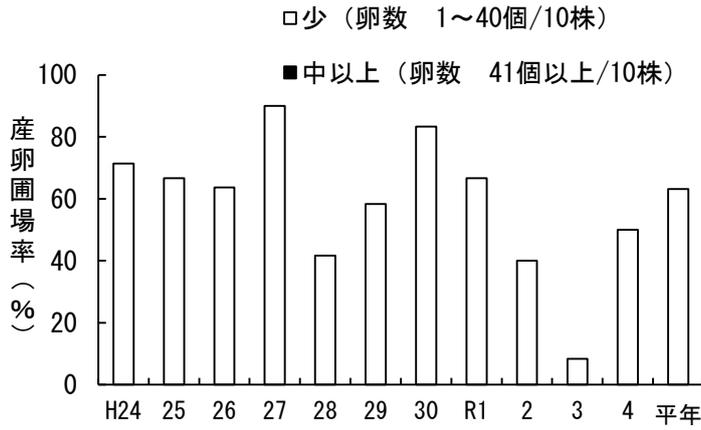


図5 モンシロチョウの産卵圃場率の年次推移
(5月中旬)

3 ヨトウガ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺は、5月第4半旬まで確認されなかった（図6）。
- (2) 基準圃場における産卵は、5月第4半旬まで確認されなかった（平年5月第6半旬）。
- (3) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺は、5月第5半旬から確認された（図7）。
- (4) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺は、5月第4半旬から確認された（図8）。
- (5) 5月の巡回調査では、産卵は確認されなかった。

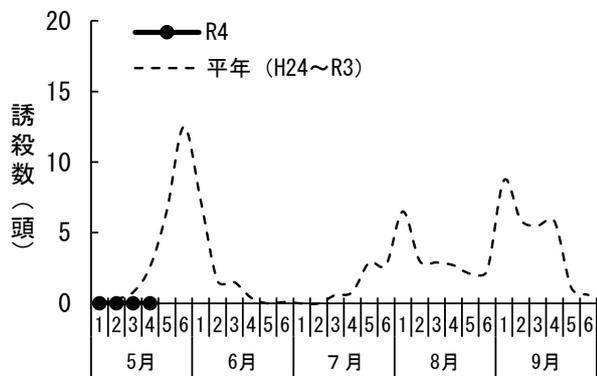


図6 基準圃場（北上市成田）におけるヨトウガのフェロモントラップの誘殺状況

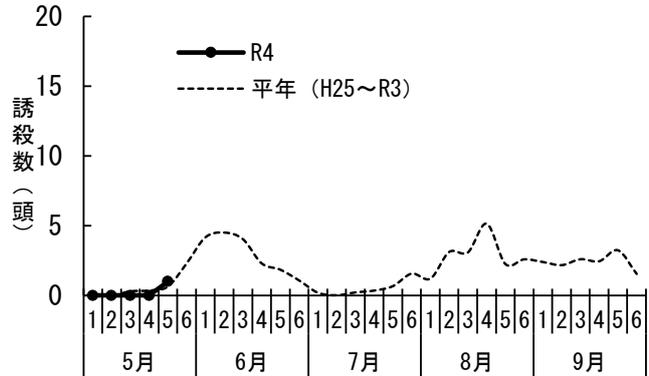


図7 岩手町におけるヨトウガのフェロモントラップの誘殺状況

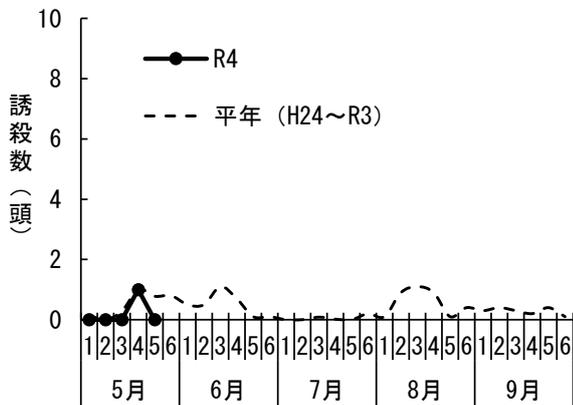


図8 軽米町におけるヨトウガのフェロモントラップの誘殺状況

4 タマナギンウワバ

- (1) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺は、5月第1半旬から確認された(図9)。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺は、4月第4半旬から確認された(図10)。
- (3) 5月の巡回調査では、産卵圃場率は66.6%(平年38.0%)であり、平年より高かった(図11)。
- (4) 北上市の基準圃では、5月16日から23日にかけて産卵数の増加が観察された(図12)。

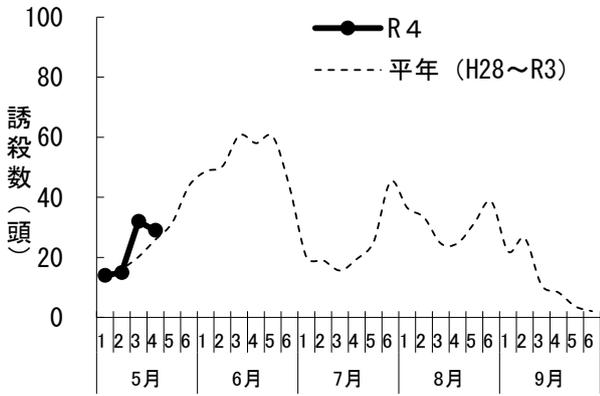


図9 岩手町におけるタマナギンウワバのフェロモントラップの誘殺状況

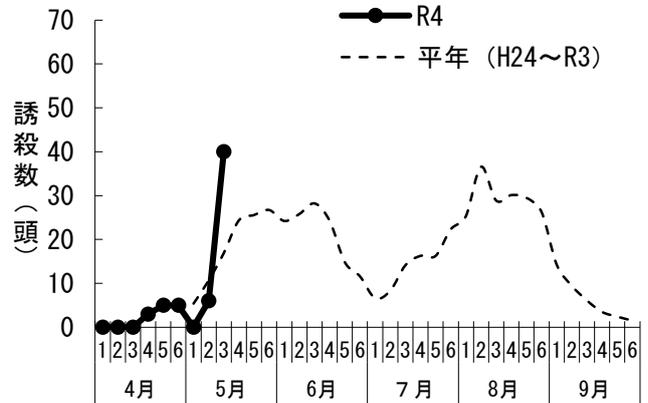


図10 軽米町におけるタマナギンウワバのフェロモントラップの誘殺状況

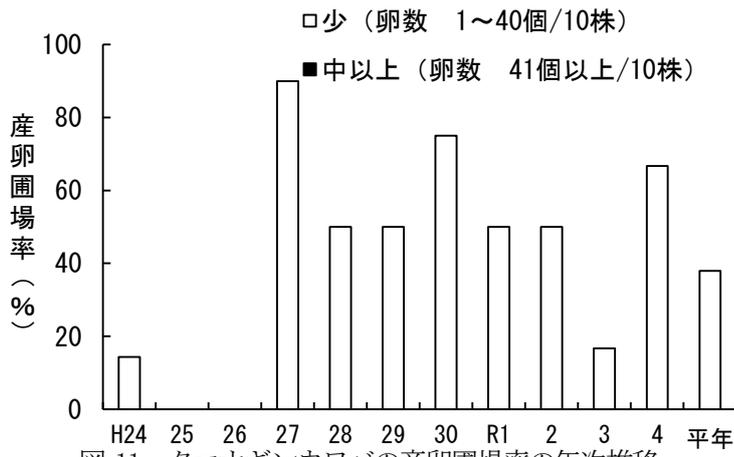


図11 タマナギンウワバの産卵圃場率の年次推移 (5月中旬)

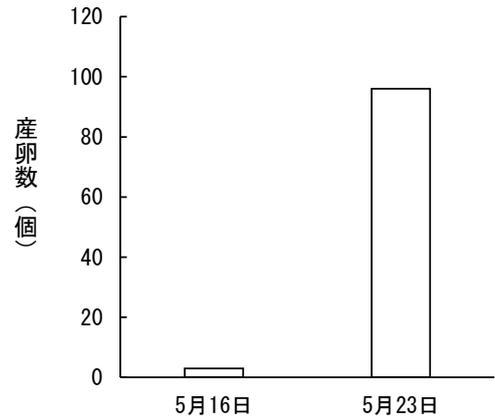


図12 北上市におけるタマナギンウワバの産卵数の推移
※調査株数30株(4月14日定植15株、5月15日定植15株)